JA いがふるさと SAISHIKI

彩四季

2018年
JAいがふるさと
No.1
4月号
April

今月の元気！いがっ子　森 太一 くん　彩葉 ちゃん

特集 JAいがふるさと役員あいさつ(P2～4)

今月の料理

- 針野菜たっぷりジャージャー麺
- さっぱり梅トマトの冷製パスタ

CONTENTS

家庭菜園 …… 5
トピックス …… 8
★とれたて市ひぞっこ来場者50万人突破(P10)
★なばな摘み取り体験(P11)
ほほえみひろば …… 12
出荷者紹介 …… 14

伊賀ふるさと農業協同組合 誕生

伊賀ふるさと農業協同組合
代表理事組合長　北川　俊一

組合員の皆様には、平素より当ＪＡの組織・事業運営全般に亘り、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

２０１８年４月１日「伊賀北部農業協同組合」「伊賀南部農業協同組合」が大同団結して新しく「伊賀ふるさと農業協同組合」（愛称 ＪＡいがふるさと）が誕生しました。

グローバル化や高度情報化の進展に伴って社会環境が大きく変化する中にあって、地域・農業・ＪＡを巡る情勢は、農業従事者の高齢化、担い手不足・不在による生産基盤の脆弱化、地域活力の低下が顕在化してきており、またＪＡの事業・組織の根幹にかかわる農協法の改正等とも併せ一層厳しさを増す状況となっています。

理事・監事

代表理事組合長	北川　俊一
常務理事	加藤　裕朗
常務理事	夏秋　可則
常務理事	西口　育男
理事	奥西　進
理事	奥谷　清則
理事	辻村　昭一
理事	中村　信通
理事	前川　輝昭
理事	松田　美忠
理事	森内　典隆
理事	山本　新
理事	北田　一美
理事	村島　義雄
理事	森田　安俊
理事	吉川　茂樹
理事	松山　浩之
理事	冨岡　重之
理事	木澤　正治
理事	服部　達秋
理事	澤井　照雄

このような厳しい農業・経営の環境変化や課題に対応し、組合員の営農と生活を守っていくため、既存のＪＡの経営資源（ヒト・モノ・カネ等）をより広い地域で、より効果的に活用し、『農と食・緑を育み、豊かな生活づくり、潤いのある地域づくりに貢献します』の経営理念の下、合併した両ＪＡが持つ強みを活かし、経営資源の拡充をはかり、事業機能の高度・専門化及び効率化、組織・経営基盤の強化を通じ「組合員・地域社会に貢献するＪＡ」の実現に向け取り組んで参ります。

また、合併を機に、ＪＡグループが自らの改革として掲げた農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の実現に向けて、役職員一丸となって一層の協同活動に取り組んでまいりますので、皆様方の引き続いてのご理解・ご支援を重ねてお願い申し上げます。

２０１８年４月１日

JA いがふるさと本店

理事会

理事　中林　正悦
理事　髙橋　久男
理事　坂本　榮二
理事　南　博人
理事　藤岡　勝彦
理事　今井　由輝
理事　西谷　治
理事　和田　満夫
理事　馬岡　清史
理事　山﨑　祥生
理事　家里　英夫
理事　中川　智生
理事　福田　行男
理事　吉岡　章
理事　國森　幹雄
理事　西田　淳也
理事　極並　繁雄
理事　西　忠弘
学経理事　小林　かよ
理事　壷田　洋子
理事　奥井　てる子
理事　山﨑　昭子
代表監事　松原　嘉文
常勤監事　服部　安男
監事　中森　伸正
監事　橋本　平一
監事　中井　啓一
監事　二谷　幸夫
監事　栗田　隆之
監事　古川　信行

常勤役員あいさつ

JAいがふるさとは組合員・地域の皆様にご満足いただける体制づくりに努めて参りますので、よろしくお願いします。

常務理事 加藤 裕朗

組合員の皆様をはじめ地域の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当組合の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、JAいがほくぶとJA伊賀南部は合併し、新しくJAいがふるさとが誕生いたしました。

農業を取り巻く情勢は厳しさを増す状況でございますが、地域の農業を守るとともに、地域と共に歩むJAをさらに目指し「10年、20年後も元気なJAづくり」「信頼され安心してご利用頂けるJAづくり」に努めて参りますので、ご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

常務理事 西口 育男

新年度の幕開けとともに、「JAいがふるさと」が誕生いたしました。役職員一同、行動・意識を強い思いで共有を行い奮励努力し「合併していい農協になったな」と評価いただけるよう邁進いたします。

農業をとりまく環境は担い手の世代交代、高齢化、農地・経営体の集約化、国内需要の減少。またJAの経営環境は、マイナス金利、農協改革、競争激化等の強い向かい風の中ですが、総合事業の強みを最大限発揮し創造的自己改革の目標であります「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に貢献して参ります。

組合員、地域の皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

常務理事 夏秋 可則

伊賀ふるさと農業協同組合の発足にあたりまして、このたび営農・経済担当常務として就任をさせていただく事となりました。

農業改革・農協改革の実践等、農業を取り巻く情勢は引き続き厳しいなか、浅学非才の身ではございますが、旧JA伊賀南部での職員・役員としての知識と経験を活かし、地域農業の振興と健全なJA経営を目指し、組合員並びに地域住民の皆様のご期待に応えられるJAづくりに取り組んで参ります。

つきましては、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

常勤監事 服部 安男

合併して貯金残高が2500億円超の大きな「伊賀ふるさと農業協同組合」が誕生し、常勤監事としての責任で身が引き締まる思いであります。切磋琢磨して監査能力・監査技術の更なる向上を図り、協同組合は組合員が主体であるとの原点に立ち、組織・事業活動と経営・財務面などについて様々な角度から意見表明を行い、地域社会・地域農業および新組合の発展に少しでも寄与したいと思っています。

更に、監査を通じて組合経営の透明性を図り、業務改善や経営改善に積極的に寄与していきます。

栄養豊か、花も楽しめるオクラ

オクラ

オクラは夏を越して晩秋まで果実（莢果）を取り続けることができ、家庭菜園や庭先、プランター栽培にお勧めです。フヨウに似た黄色い花は観賞用としても愛でられ、秋遅くまで咲き続けます。

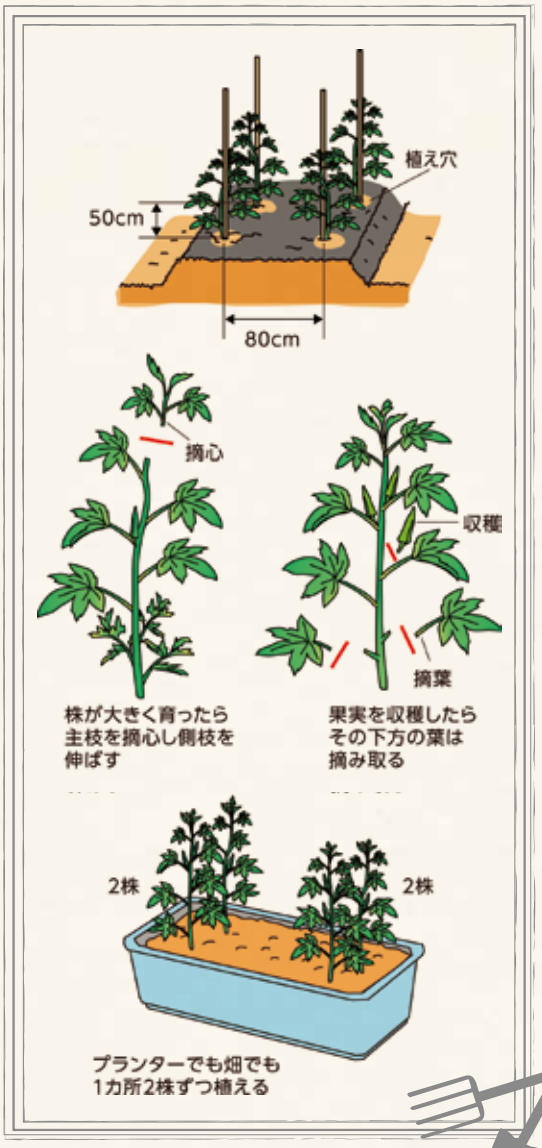
オクラには独特の粘りがあり、夏を乗り切るために必要なスタミナ作りにうってつけの野菜として知られています。食べ方は、刻んで生のままだけでなく、ゆでたり炒めたり、サラダやてんぷら、みそ漬け、かす漬けと様々なものがあり、用途が広いのも魅力です。

高温性で昼は25～30度、夜は20～23度が適温となっております、10度以下の低温管理や植えた畑が寒すぎたりする場合は、生育が停止し葉が黄変したり、畑に植えた苗が一向に伸びず落葉・枯死してしまいます。このような状態を水不足と勘違いして水をやり過ぎると地温がさらに下がり、過湿となり立ち枯れ病が発生する原因となってしまいます。

育て方のポイントは、苗は3号ポリ鉢に、一晩水に浸した種を4～5粒まき、20度ぐらいに加温して育てるか、市販の苗を買い求め、暖かい場所で再育苗し、十分暖かくなってから畑に植え出します。最近はずいぶん早くから店頭に苗が並びますが、生育に必要な気温になっていることを確認してから購入するようにしましょう。

図のように黒色ポリフィルムをマルチングし、地温を上げてから植えることをお勧めします。

オクラの育ちをよく見ると、初期には枝分かれせず、1株当たりの花・果数は少ないので、それを補い、早期収量を高めるために、畑でもプランターでも、1カ所に2株ずつ植えることを勧めます。前半は葉もあまり込み合わないので、ちょうど良いのです。



盛んに育ち枝が伸びだしてきたら、主枝の上の方を摘心し側枝に日を当て、健全に伸びるようにします。

半月に1回、1株当たり小さじ1杯ぐらいの化成肥料を追肥します。

近頃、各地で葉を筒状に巻き食害するワタノメイガの発生が見られます。発見次第捕殺するか、適応殺虫剤を散布して防ぎましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JA いがふるさと
営農振興基金助成対象者募集！

JAいがふるさとは「営農振興基金」で伊賀地域の生産者の新規就農や作物導入、規模拡大を後押しします。

「営農振興基金」は「地域農業振興構想」を実現させるために平成26年からスタートしました。新規就農や事業規模の拡大を行う方を対象に投資費用の一部を助成いたします。

①基金助成対象者

- 助成対象事業への新規就農者および新規に取り組む個人や団体・法人
- 対象事業の事業規模を一定要件以上拡大する個人や団体・法人
- 「地域農業振興構想」の実現に寄与すると考えられる新規事業に取り組む個人や団体・法人

※営農振興基金の利用には計画書の提出と審査がございます。

②助成対象

（1）園芸事業（アスパラガスなど）

伊賀米・伊賀牛に次ぎ、園芸を再興し３つ目の柱にするため、アスパラガスや少量多品目の作付、面積拡大に対する種苗費や肥料費、施設設置費用などの助成

（2）肉牛肥育事業（伊賀牛）

伊賀牛肥育事業の新規就農や規模拡大から２年間を対象として、素牛・飼料などの助成

（3）その他

新規就農やマーケティング、PR 戦略など組合長が認めるもの

③助成実績

JAいがほくぶでは基金創設から３年間（平成26年度～29年度）で 48 件、約 5910 万円の助成を行いました。

事業内容	助成効果	助成内容
アスパラガス 新規・規模拡大	89a の栽培面積拡大	ハウス建設や資材費
肉牛肥育	249 頭増加	素牛導入や飼料費
イチゴ	事業開始から 28 年度までの拡大 販売高 830 万円	ハウスおよびシステム
その他野菜	事業開始から 28 年度までの拡大 販売高 950 万円	ミニハウスおよび水耕システム
新規就農	1.2 ヘクタールで農業開始	農機具

※本基金の利用には上記以外にも要件がございますので、ご利用を希望される方は営農部営農企画課（☎24-5111）までお問い合わせください。

伊賀米コシヒカリ 食味ランキング「特A」評価

産地	地区	品種名
北海道		ゆめぴりか
		ななつぼし
青森	津軽	青天の霹靂
宮城		ひとめぼれ
		つや姫
秋田	県南	あきたこまち
山形	置賜	つや姫
	村山	つや姫
福島	会津	コシヒカリ
	浜通	コシヒカリ
	会津	ひとめぼれ
	中通	ひとめぼれ
茨城	県北	コシヒカリ
栃木	県南	とちぎの星
埼玉	県東	彩のきずな
神奈川	県央・湘南・県西	はるみ
新潟	上越	コシヒカリ
	下越	コシヒカリ
	佐渡	コシヒカリ
福井		コシヒカリ
		ハナエチゼン
		あきさかり
長野	北信	コシヒカリ
岐阜	美濃	コシヒカリ
	飛騨	コシヒカリ
三重	**伊賀**	**コシヒカリ**
滋賀		みずかがみ
京都	丹波	キヌヒカリ
兵庫	県北	コシヒカリ
	県南	きぬむすめ
島根		つや姫
岡山		きぬむすめ
山口	県西	きぬむすめ
高知	県北	にこまる
福岡		夢つくし
		ヒノヒカリ
佐賀		夢しずく
		さがびより
熊本	県北	ヒノヒカリ
		森のくまさん
大分	豊肥	ヒノヒカリ
	西部	ひとめぼれ
鹿児島	県北	あきほなみ

伊賀米コシヒカリが日本穀物検定協会が主催する平成29年産米食味ランキングで、最高評価「特A」に評価されました。

平成29年産米については、全国151産地品種について試験が行われ、43産地品種が「特A」と評価されました。伊賀米コシヒカリは28年産で特A評価を逃していましたが、今回の特A評価獲得は、伊賀米の生産振興に携わった生産者、実需関係者、普及所、JAなどが一体となり振興に取り組んできた成果の賜です。

食味ランキングとは？

食味ランキングは、日本穀物検定協会が毎年発表しているもので、専門の評価員が食味試験を行い評価しています。

用意された基準米と比較して、白飯の外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の６項目を判定します。特Aは、基準米と比べて特に良好なものに対して与えられる評価です。

平成29年産の伊賀米コシヒカリの生育状況については、登熟期の高温や日照不足の影響で作況指数も93(全国平均100）と不良でありました。長年取り組んでいる土壌づくりなど生産者の技術や努力の結果、念願だった再度の最高評価を果たしました。

伊賀山田錦生産者大会

3月2日(金)

伊賀山田錦生産振興協議会はサンピア伊賀で「平成29年度伊賀山田錦生産者大会」を開き、生産者などの関係者約60名が出席しました。大会では米穀情勢や、29年産の山田錦の検査結果、30年産米の品質向上に向けた取り組みについて提案がありました。

併せて開催した「第30回山田錦共進会」では最優秀賞を含む7名の生産者が表彰を受けました。

共進会表彰者　（敬称略）

最優秀賞　三重県知事賞
瀧本　謙二

優秀賞　三重県議会議長賞
菊山　真利

優秀賞　三重県酒造組合会長賞
松原　孝好

優秀賞　全国農業協同組合連合会三重県本部県本部長賞
川口　雅也

優秀賞　三重県米麦協会会長賞
高田　次男

優秀賞　伊賀北部農業協同組合組合長賞
宮谷　賢治

優秀賞　伊賀南部農業協同組合組合長賞
乾　一夫

JA伊賀南部ひな祭り会

3月2日(金)

JA伊賀南部はふらっとほーむあおやまでひなまつり会を開催しました。

午前中は、お茶をたてて、自由に過ごした後、スタッフ手作りのお弁当をいただきました。

午後からは、スタッフと利用者の皆さんでうれしいひなまつりを歌い、ゲームや体操をして楽しいひと時を過ごされました。

JA伊賀南部女性部意見交換会

3月6日(火)

JA伊賀南部女性組織連絡協議会は、「JA常勤役員と女性組織本部役員との語る会」を開催し、女性組織連絡協議会役員や助け合い組織けやきの会役員、新予約共同購入委員会役員、JA常勤役員等が参加しました。

この取り組みは、男女共同参画運動を促進することを目的として毎年開催しており、当日はさまざまな意見を交換し合いました。

伊賀米生産者研修会

3月7日(水)

伊賀米振興協議会は伊賀庁舎で「伊賀米生産者研修会」を開催しました。伊賀米コシヒカリが食味ランキングで「特 A」評価を受けたことや平成29年産米の生育経過、品質状況についての報告がありました。

また、伊賀米売れる米づくり共進会と伊賀米うまい米コンテストの表彰式を行いました。

伊賀米売れる米づくり共進会

優秀地域賞（地区名）

霧生上出、出後、種生第一
平松、下高尾第二、上阿波

伊賀米うまい米コンテスト（敬称略）

最優秀金賞	赤目地区稲作品質向上委員会
優秀金賞	上嶋　彰美
	前田　正澄
入賞	（株）ツーライフ農園　北出　茂樹
	上嶋　芳昭
	藤永　柳次
	藪井　直子

JA こうか・JA いがほくぶ合同ウォーキング

3月8日(木)

JA こうか･JA いがほくぶ女性部交流ウォーキング大会を両 JA の交流事業の一つとして開催しました。当日は滋賀県石部駅をスタートして、じゅらくの里や長寿寺、新明寺を回る約 17km の行程を歩きました。心配していた雨も降らず、参加者は気持ち良くウォーキングを楽しみました。

JA 伊賀南部女性部講座閉講式

3月8日(木)

JA 伊賀南部女性部講座閉講式及び研修会を開催しました。

当日は、愛知県を訪れ、伝統工芸品である有松絞りの体験をしました。また、ランチバイキングや名古屋駅周辺の散策を楽しみ、平成 29 年度の女性部講座を閉講しました。

とれたて市ひぞっこ来場者 50 万人突破

3月9日(金)

JA いがほくぶ直売所「とれたて市ひぞっこ」の来場者が 50 万人を突破しました。記念となった 50 万人目の来場者には伊賀米コシヒカリ 30kg が贈られました。

10 日～ 11 日には記念セールを行い、2,000 円以上購入された方に抽選で伊賀米コシヒカリなどが当たる抽選会や感謝の意味を込めたサンキューセールを行いました。

JA いがほくぶ健康寿命 100 歳プロジェクトウォーキング大会

3月11日(日)

JA いがほくぶ年金友の会、女性組織会員を対象としたウォーキング大会を開催しました。愛知県のラグーナテンボスを訪れ、ビーチウォーキングやフラワーガーデンを見学した後、歌劇を鑑賞しました。

参加者からは「体調に合わせコースを選べ、きれいな花も満喫でき、楽しく体を動かせた。」と好評でした。

よしもと 47 シュフラン認定式

3月12日(月)

よしもと 47 シュフラン認定式が開催され、JA いがほくぶからはごはん部門に出品した「伊賀米秘蔵っ子セット」(伊賀米コシヒカリ 1kg と伊賀牛カレー 4 個のセット)が金賞に認定されました。

よしもと 47 シュフランは全国 47 都道府県の主婦が主婦目線で選んだご当地の『いいもの』を取り揃え、金賞を認定する地域活性プロジェクトです。今後、認定された商品はよしもと直営ショップや通販などで販売され、よしもと芸人やメディアを通じて日本国内や海外に発信されていきます。

伊勢路いきいきサロン訪問

3月13日(火)

JA 伊賀南部の助け合い組織「けやきの会」は伊賀市伊勢路集会所で開かれた「伊勢路いきいきサロン」を訪問しました。

けやきの会スタッフと参加者全員で、手話を用いた歌を歌ったり、輪投げをしました。また、頭の体操として、ムービングボールをし、時間を忘れるほど集中して取り組んでいました。参加者の皆さんは終始楽しい時間を過ごされました。

JA バンク農業者セミナー

3月13日(火)

JA いがほくぶは本店で「JA バンク農業者セミナー」を開き、管内の農家 57 名が参加しました。

「地域農業の発展を目指して」と題して（有）フクハラファーム代表取締役会長福原昭一氏が所得向上に向けた低コスト化や ICT の活用、人材育成についての取り組みを紹介しました。

伊賀市教育委員会へ『ちゃぐりん』贈呈

3月14日(水)

JA いがほくぶは地域貢献活動の一環として伊賀市教育委員会へちゃぐりん 4 月号 189 冊を贈呈しました。ちゃぐりん 4 月号には伊賀市小田町出身の、高久甚之助氏の人物伝が、漫画で掲載されています。西口育男常務理事は「ちゃぐりんは漫画だけでなく食農教育など読み応えのある内容で子どもだけでなく親世代も楽しめる雑誌。子どもたちには本書を通じて野菜や農業など様々なことに興味をもって欲しい。」と教育長へ贈呈しました。

JA 伊賀南部なばな摘み取り体験

3月24日(土)

JA 伊賀南部はなばな摘み取り体験イベントを名張市滝之原で開催しました。

当日はなばな部会員の堀坂幸雄さんの圃場をお借りして、1 袋 100 円で三重なばな詰め放題を行いました。天候にも恵まれ、会場は家族連れなどたくさんの参加者でにぎわい、楽しそうになばなを摘み取っていました。

JA いがほくぶ家の光愛読者のつどい

3月25日(日)

家の光愛読者のつどいを JA いがほくぶ本店で開催しました。当日の記念講演ではヨガ講師の秀子セティさんを講師に迎え、家でも簡単にできるヨガを参加者全員で体験しました。

また、家の光記事活用グループ「よみっこ」が寸劇を披露。『みんなが主役 わたしたちの JA 自己改革』と題して、地域での JA の役割や自己改革にみんなで参加する重要性を伝えました。

わんぱくキッズ

自然と暮らす喜び

名張東支店

森 彩葉（いろは）ちゃん（4歳） 太一（たいち）くん（1歳）

四方を豊かな自然に囲まれた伊賀盆地。あちらを向いても山、こちらを向いても山。そんな環境には多種多様な生物達が住んでいて、子ども達も木々や野菜はもちろん、鳥や虫も大好き。いろんな命をいつも優しく包み込んでくれる自然に感謝。

こんな環境で暮らしていると動植物も人間もみんな一緒の家族なんだなってことを強く実感します。

〔お父さん：哲也さん　お母さん：都さん〕

私はまってます！

JAのパッチワーク教室

大山田支店

米澤 日出美さん

人間は病気に成ってからでは手遅れ、元気な内に年寄は勉強して若い人の足を引っ張らない様、生活の中に少々自分の好きな事をして体を使う事が良いのではと思っています。そんな思いから担当しているJAの趣味の会では、あまり規則を作らず、でも少々年寄のプライドとして古い物の上に新しいことが成り立っている事を「復古創新」と云う言葉で、女の歴史ある古布を使って創作を楽しんでいます。

JA伊賀南部広報誌3月号クイズ答え

当選者

岡本 荘平 様
三枝 郁代 様
平田 敦子 様
廣田 進 様
多田 健一 様
渕矢 弘子 様

おめでとうございます。

正解は タケノコ

1 ナ	6 ノ C	ハ	10 ナ	■	16 カ	18 ゲ
2 ワ	シ	■	11 カ	14 コ	ケ B	イ
シ	■	9 オ	ミ	ク	ジ	■
3 ロ	7 ダ	ン	■	15 サ	ク	19 ラ
■	8 イ	ダ	12 テ	ン	■	ク
4 セ	コ D	ン	ド	■	17 イ	セ
5 リ	ン	■	13 リ	ツ	タ A	イ

JAいがほくぶ広報誌3月号クイズ答え【彩四季】

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

『彩四季』の由来

広報誌の名称『彩四季』は旧JAいがほくぶの広報誌から名前を引き継ぎました。

四季折々、大地の恵みや伝統行事に彩られているこの地域を表す言葉です。更に未来に向かって、生活を彩る新たなアグリビジネスの創造や、農業・生活・産業・自然の調和がとれたまちづくりを目指すという意味が込められています。「彩四季」は「歳時記」にも通じる言葉であり、農と緑と活力にあふれ、文化豊かでゆとりのある生活を目指すことも表現しています。

JAいがふるさと広報誌『彩四季』をこれからよろしくお願いします。

妹分の子育て頑張って!!

ペット自慢

諏訪ふれあい店

飼い主：茶本 晋二さん　裕子さん

ペット：エバ 11 歳 メス（チンチラ）

ヒロ　8 歳 メス（ゴールデンレトリバー）

見た目も性格もゆるい感じの娘たち。２匹とも寂しがり屋でとにかく触ってほしいし寝る時もいつもくっついている甘えん坊。

エバは小さくてモコモコでまるでぬいぐるみ。ヒロはポッチャリふわふわでまるで着ぐるみ。人が大好きで１年に２～３回しか吠えません。

そんな頼りになる？２匹ですが１月に生まれた実の娘『真穂』のいい姉役になってくれると期待しています。

好きなスポーツで健康維持

おしどり夫婦

島ヶ原ふれあい店

坂口 守さん　洋子さん

今年で金婚式を迎えました。長年続けてきた板金業を廃業しました。この間には色んな苦しいこと等が多々ありましたが、２人で助け合いながら乗り越えて来ました。

現在は５人の孫の成長を祈る毎日。また２人で好きなスポーツ、旅行などで人との出逢いと交流を深め、これからも健康に気を付けて２人で仲良く何事にも前向きに頑張っていきたいと思います。

お楽しみ プレゼントクイズ

クイズ

Q 食味ランキングで特A評価を受けたお米は全国で『○○』産地品種

◆官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名をご記入の上、左記までお送りください。抽選で５名の方にプレゼントを！　本誌に対するご意見や、地元の情報等もお待ちしております。いただいたご意見・情報は今後の広報活動に役立てていきます。なお、ご記入いただいた個人情報は賞品の発送以外には使用いたしません。

◆**宛先**　〒518-0820　伊賀市平野西町1番1　JAいがふるさと本店　おたのしみプレゼントクイズ係

◆**〆切日**　2018年5月7日（月）必着

おたより紹介

皆様からいただきました おたよりをご紹介します！

＊４月から「JAいがふるさと」としてスタートしたんですね。新たな楽しみ期待しています。
Nさん

＊JAいがふるさとになっても地域に根差した身近なJAさんでいてほしいです。
Nさん

＊これまで読んでいた広報誌が変わるのはちょっぴり残念ですが、新しい広報誌を楽しみにしています。
Hさん

＊家庭菜園コーナーを読んで勉強しています。
Kさん

＊家庭菜園を参考にさせていただき、野菜作りを楽しんでいます。
Hさん

＊じゃがいもの芽かきのやり方参考になりました。大きなじゃがいもが出来れば嬉しいです。
Fさん

ハッピーリング　上田 賢博 さん　美智代 さん

伊賀市真泥のハッピーリングさんは自家栽培の米を使ったかき餅やよもぎ餅、もち米とうるち米を使い、きな粉をまぶしたおはぎ餅を直売所「とれたて市ひぞっこ」などへ出荷しています。

かき餅は出荷を始める前から元々、家で作っていました。もち米に味を付け、伊賀産の菜種油を入れて餅をつき、乾燥させたものを1枚1枚電子レンジで加熱して作ります。着色も極力自然の素材を使い、よもぎやモロヘイヤ、ウコン、黒ゴマなどでカラフルな色を表現しています。直売所でも好評で購入した方から直接、「次はいつ売場に並びますか?」と電話をいただいたこともあるそうです。

上田さんは「余った時間を使って商品を出荷しています。自分たちで丹精を込めて作ったものが売れるのは嬉しいです。昔から愛されてきた田舎のおやつを皆さんに食べてもらえるように、地道に出荷していきたいです。」と語ってくれました。

女性加工部会「笑の花」

女性加工部会「笑の花」は、平成26年3月に発足しました。1年を通してよもぎ餅を作り、春にはさくら餅、冬にはでっちようかんなど季節に合わせた商品をほのぼの市場やうちらの店、とれたて名張交流館で販売しています。

特によもぎ餅は評判が良く、よもぎは会員自ら摘んだものを使用し、もち米やあんこも会員が生産したものを使っています。添加物を使っていないのも特徴です。

平成28年には、新たな試みとして、果物を使った飲むジュレを考案し、試行錯誤を重ねて直売所での販売を始めました。飲むジュレは、隠タカラモノ（名張の魅力を活用して作り出した商品）に登録されています。

活動は月に2回、会員十数人の内、参加できる人が加工場に集まり、商品づくりを行っています。

加工部会の皆さんは「会員も高齢になってきているが、元気なうちは頑張って作り、皆さんに昔ながらの手作りの味を味わってほしいです。また、新しい商品も作っていきたいです。」と語ってくれました。

JAいがほくぶ理事会ファイル

去る3月12日に本店会議室において理事会が開催され、左記の事項について協議が行われました。

一、平成30年産米取扱要領
「伊賀米定義」の米を柱とした販売計画の確立と集荷率の向上に努め、消費者に信頼される伊賀米生産をすすめるための要領が承認されました。

二、移動金融店舗車導入
支店再編計画の中でふれあい店廃止の代替案として運行する移動金融店舗車の概要と運行計画などが承認されました。

三、新上野西支店の実施設計
建物の配置、建築概要、工事費用等が承認されました。

四、給油ポータル店の廃止に伴う代替措置
設備老朽化による法令上の問題から廃止することに伴うガソリン、混合油の配送サービスの概要が承認されました。

五、外部出資
阿山物産振興協同組合への出資額の増額が承認されました。

六、利益相反取引
1件の取引が承認されました。

七、出資口数の変更の承認
4件の変更が承認されました。

その他、1月末実績、総合ポイントアップ制度、2月末組合員の異動、3月業務予定について報告があり承認されました。

JA伊賀南部理事会ファイル

去る3月23日に本店会議室において理事会が開催され、左記の事項について協議が行われました。

一、出資持分減口請求
合併に伴い、出資限度額が300万円から100万円へ変更になることから、出資持分減口請求が承認されました。

二、購買棚卸在庫（長期在庫）の処理
3経済センターの段ボール類・生産資材・葬祭用品等の処理について承認されました。

三、不良債権処理方針
信用貸出金の不良債権処理方針が承認されました。

四、利益相反取引
平成30年度（株）ジェイエイサービス伊賀南部の作業委託料契約について承認されました。

五、平成30年度Aコープ青山店にかかる（株）エーコープ近畿との作業委託契約について
平成30年度の作業委託契約が承認されました。

六、名張市市長選挙立候補予定者の推薦
4月15日の市長選に出馬する候補者の推薦が承認されました。

また、3月30日に本店会議室において臨時理事会が開催され、左記の事項について協議が行われました。

一、減損損失計上による平成29年度決算見込み
原案通り承認されました。

JAいがふるさと理事会ファイル

去る、4月1日に本店会議室において理事会が開催され、左記の事項について協議が行われました。

一、常勤役員等の新体制
合併時（2018年4月1日～2019年6月総代会）の常勤理事体制を代表理事組合長北川俊一、常務理事加藤裕朗、常務理事夏秋可則、常務理事西口育男とすることが承認されました。

二、組合長に事故あるときの代理・代行
①常務理事（総務担当、営農・経済担当、信用担当の順）②地区推薦の非常勤理事（地区順）③区域全体・区分全体推薦の非常勤理事（地区順）とすることが承認されました。

三、常勤理事の担当業務
総務担当加藤裕朗、営農・経済担当夏秋可則、信用担当西口育男とすることが承認されました。

四、2018年度理事の報酬
2018年4月～6月の理事の報酬は旧JAいがほくぶの役職毎の報酬額に基づいた額とし、7月以降の報酬は通常総代会終了後の理事会で協議を行うことが承認されました。

五、諸規程の設定・改廃
合併に伴う諸規程類の設定・改廃が承認されました。

六、2018年度余裕金運用方針
基本方針、運用方法、運用額などが承認されました。

七、2018年度内部監査計画
基本方針、重点項目、実施内容などが承認されました。

八、各専門委員会の委員及び委員長の選任
総務・企画委員会、生活・金融・共済委員会、営農委員会の各委員及び委員長が承認されました。

九、次期役員体制検討会議の設置
次期役員改選時に適切な役員体制を確保するため、合併事業計画において検討することとしている役員の選出方法及び役員定数等の検討を行う会議体を設置することが承認されました。

十、役員賠償責任保険の中途更改
合併に伴い、役員体制が変わるため、現在契約期間中の保険を中途更改することが承認されました。

十一、同一人に対する信用の供与等の最高限度額
組合員及び組合員以外の者に対する信用の供与等の最高限度額が承認されました。

十二、貸付金の利率の最高限度
資金の貸出及び手形の割引の利率の最高限度が承認されました。

十三、総代選挙に関する管理者・立会人
旧JA伊賀南部管内において実施する総代選挙に関する管理者、立会人が承認されました。

その他、人事異動、旧JA伊賀南部子会社の役員体制について報告があり承認されました。

ローソン店舗設置のJAバンクATM撤去のお知らせ

各ローソン店舗に設置しておりましたJAバンクATMについて、順次撤去することとなりました。なお後継機として、ローソンATMが設置されます。

ローソンATMでは引き続き入出金・残高照会のサービスをご利用いただけますが、時間帯・取引内容によっては利用手数料が発生いたします。なお、通帳でのお取引は利用できなくなります。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ローソン店舗設置のJAバンク撤去スケジュール

名張駅前店	4月23日（月）
名張桔梗が丘六番町店	4月23日（月）
名張八幡店	5月16日（水）
名張鴻之台三番町店	5月16日（水）

ATMなどのサービス一時休止のお知らせ

JAバンクの全国統一電算システムの更改に伴い、誠に勝手ながら下記の日程でATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

5月4日（金）

JAいがふるさと
彩四季
2018.4 No.1

今月の料理

針野菜たっぷりジャージャー麺

材料（1人分）

中華麺…… 1玉
トマト…… 1/4個
ゆで卵…… 1/2個
針野菜
- キュウリ…… 1本
- ミョウガ…… 2個
- シュンギク…… 1/5わ

肉みそ
- ひき肉……150g
- テンメンジャン …… 大さじ1と1/2
- トウチジャン…… 小さじ1
- 砂糖…… 小さじ2
- しょうゆ…… 小さじ1
- おろしニンニク …… 少々
- おろしショウガ …… 小さじ1
- 塩、こしょう…… 適宜
- 料理酒…… 大さじ1
- 水…… 3/4カップ
- 中華スープのもと …… 小さじ1
- 水溶き片栗粉…… 大さじ1
- サラダ油…… 大さじ1
- ごま油…… 小さじ1

作り方

1. フライパンにサラダ油を熱しひき肉を入れ、塩・こしょうをして炒める。料理酒、テンメンジャン、トウチジャン、砂糖、しょうゆ、おろしショウガ、おろしニンニクを入れ、さらに炒める。水、中華スープのもとを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつけ、仕上げにごま油を入れる。
2. 別鍋に湯を沸かし、中華麺をゆで、皿に盛り付け、肉みそ、針野菜、トマト、ゆで卵をのせて出来上がり。

POINT
ゆで上がった麺にがらスープのもと（分量外）を少量入れ混ぜておくと、おいしさアップ

梅干しを楽しむアイデア

レシピをお試しになる際は、味見をしながら、お好みで梅干しの量を調整してください。

さっぱり梅トマトの冷製パスタ

材料（2人分）

梅干し…… 1個
ミニトマト…… 200g
ちりめんじゃこ …… 大さじ2
オリーブ油 …… 大さじ1
しょうゆ……少々
かつお節（細削り） …… 軽く1つまみ
青ジソ（トッピング用） …… 1～2枚
パスタ…… 200g

作り方

1. パスタはゆでて冷水に取り、水気を切っておく。
2. 梅干しはたたき、ミニトマトは1/4程度に切って、青ジソ以外の他の材料と混ぜる。
3. 1に2をあえ、千切りにした青ジソを散らす。

POINT
豆腐、パン、クラッカーなどに載せてもOK
ボリュームが足りない場合はチーズやアボカドを加える

●発行所／伊賀ふるさと農業協同組合
〒518-0820 三重県伊賀市平野西町1番1
☎0595-24-5111

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、大豆油インクを包含した植物油インクと環境に配慮した再生紙を使用しています。